

# 都道府県SDGs調査2020 個別レポートのご案内

～都道府県内の具体的な課題の抽出、属性別分析には個別レポートをご活用ください～

個別レポートでは、お申込みいただいた都道府県の結果を、グラフ等を使って分かりやすくまとめています。回答者の属性(年代、男女、婚姻、子どもの有無、住居、勤務、SDGs認知など)によるクロス集計の結果なども記載。データCDつきで、自由に分析していただけます。

## 基本セット

(総合報告書、個別レポート、データCDつき)

98,000円(税別)

個別レポート体裁;A4判、簡易製本、10頁程度

納期:ご注文日より約1週間

CD収録内容:個別レポート(PDF、Excel)、総合報告書の県別表・属性別クロス表

※別の都道府県の結果を追加ご希望の場合は、追加料金(2万円/県・税別)にて作成いたします。

## 各項目結果・全国との比較 (1～5ページ)

SDGs関連指標、持続性指標、悩み・不満の全項目(146項目)について「回答割合」「点数」「全国平均」「順位」「前年度結果(該当のみ)」を表とグラフで掲載。

### 都道府県SDGs調査2020 個別レポート

ブランド総合研究所

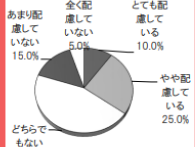
都道府県名 ●●県 サンプル数 330人

#### SDGs関連指標

項目	●●県		全国平均
	点数	順位	
SDGs評価指数	点 55.0	▲	50.0
SDGs認知度	点 55.0	▲	0.0
ゴール評価	% 16.8	▼	0.0
行動の個数	個 3.00	▼	0.00

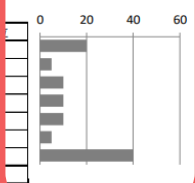
#### ①SDGs評価指数

項目	%	順位	
		前年度	全国平均
とても配慮している	10.0	4.8	
やや配慮している	25.0	22.4	
どちらでもない	45.0	49.9	
あまり配慮していない	15.0	14.1	
全く配慮していない	5.0	8.9	
SDGs評価指数	点 55.0	50.0	



#### ②SDGs認知度

項目	%	順位	
		前年度	全国平均
SDGsという言葉	20.0		
具体的な内容	5.0		
SDGsのロゴ	10.0		
17個のアイコン	10.0		
持続的な開発目標	10.0		
エシカル消費	5.0		
どれも知らない	40.0		
認知度	点 55.0	0.0	



#### ③ゴール評価

項目	前年度	全国平均	順位
1 貧困をなくそう	20.0		

全国平均と、全国における順位を記載  
総合報告書にて、近隣地域との比較も可能です

### 都道府県SDGs調査2020 個別レポート

ブランド総合研究所

#### ⑤個人の悩み

ゴール	悩み項目	%	前年度	全国平均	順位
①貧困	低収入・低賃金	30.0	25.0		
	貯蓄・投資	20.0	15.0		
	借金・ローン	20.0	20.0		
	相続	20.0	10.0		
②食糧	栄養バランス	10.0	15.0		
	食物アレルギー	5.0	5.0		
	家庭での食事の崩壊、個食化	5.0	5.0		
	体調不良	15.0	15.0		
③健康	持病・難病	10.0	10.0		
	生活習慣病	10.0	10.0		
	ストレス	30.0	30.0		
	花粉症	10.0	10.0		
④教育	食物や花粉以外のアレルギー	5.0	5.0		
	運動不足	25.0	25.0		
	介護	5.0	5.0		
	病院・医療施設の不足	5.0	5.0		
⑤社会	害虫・有害動物	5.0	5.0		
	退廃・進学	5.0	5.0		

各結果のグラフも掲載  
一目で結果がわかります

前年の結果との比較ができます

## 属性クロス表 (6～10ページ)

該当都道府県内における、「年代」、「性別」等の属性別に、全項目のクロス分析表を掲載(A3判)。データCDにはエクセルで収録しているので、ご自由に分析にお使いいただけます。

6ページ : SDGs関連指標  
7ページ : SDGs関連指標  
8ページ : 持続性指標  
9ページ : 個人の悩み  
10ページ : 地域への不満

### 都道府県SDGs調査2020 個別・属性クロス表 持続性指標

属性	サンプル数	幸福度(Q4)				生活満足度(Q3)			
		とても満足	満足	やや満足	不満	とても満足	満足	やや満足	不満
年代	人	%	%	%	%	%	%	%	%
性別	人	%	%	%	%	%	%	%	%
婚姻	人	%	%	%	%	%	%	%	%
子供	人	%	%	%	%	%	%	%	%
職業	人	%	%	%	%	%	%	%	%
住居	人	%	%	%	%	%	%	%	%
SDGs認知	人	%	%	%	%	%	%	%	%
SDGs評価	人	%	%	%	%	%	%	%	%

#### ■属性一覧

- 年代 (20代以下/30代/40代/50代/60代以上)
- 性別 (男性/女性)
- 婚姻 (未婚/既婚)
- 子どもの有無 (有り/無し) ※既婚者のみ
- 職業 (会社員・役員/自営・自由業・その他/専業主婦/パート・アルバイト/学生・無職)
- 業種 (製造業/サービス業/その他/勤めていない)
- 年収 (200万未満/200～500万未満/500～1000万未満/1000万以上)
- 住居 (持家(戸建て)/持家(集合)/賃貸/その他)
- SDGs認知 (言葉/内容/ロゴ/アイコン/エシカル消費/持続的な開発目標/どれも知らない)
- SDGs評価 (とても配慮/やや/どちらでもない/あまり/全く)

# 分析活用例

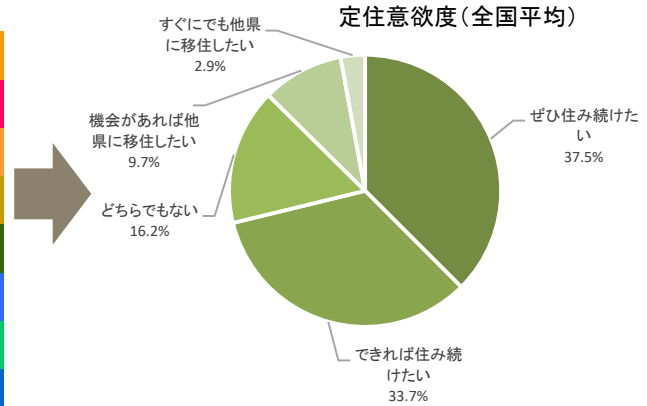
## ①定住意欲度に最も影響を与えている課題は？

本調査では、「あなたは〇〇県に住み続けたいですか」という問いに対し、「ぜひ住み続けたい」「できれば住み続けたい」「どちらでもない」「機会があれば他県に移住したい」「すぐにでも他県に移住したい」という5段階にて、定住意欲を聞いています。

さらに、個人や家族における悩み(「低収入・低賃金」「ストレス」「孤独」など50項目)と、地域への不満や取り組むべきこと(「高齢化」「経済の停滞」「商店街の疲弊」など50項目)を選択してもらっています(それぞれ、複数回答可)。

個人の悩み・地域への不満(100項目)

貧困	技術
食糧・農業	不平等
健康・福祉	都市
教育	消費
ジェンダー	気候
水・衛生	海洋
エネルギー	陸上
経済・雇用	平和



そこで、定住意欲度と、悩み・不満といった課題項目の相関を見ることで、「どのような課題が、その地域の定住意欲度に及ぼす影響が高いのか」ということを明らかにできます。

### 定住意欲度に影響の強い悩み

項目	ジャンル	係数
電車やバスの路線廃止・減便	⑪都市	-0.61
病院・医療施設の不足	③健康・福祉	-0.56
働きがいがない	⑧経営・雇用	-0.55
人材不足・後継者不足	⑧経営・雇用	-0.54
地域交流・町内会活動	⑪都市	-0.52
男女不平等・女性が活躍する場の不足	⑤ジェンダー	-0.47
借金・ローン	①貧困	-0.46
ストレス	③健康・福祉	-0.39
就職難	⑧経営・雇用	-0.37
低収入・低賃金	①貧困	-0.37

例えば左の表は、全国平均における、定住意欲度に影響の強い悩みを順に並べたもの(データは2019年調査のものを使用)。これを見ると、定住意欲度と最も相関が強いのは「電車やバスの路線廃止・減便」で、係数-0.61と強い相関がみられました。2番目に相関が強いのは、「病院・医療機関の不足」となっています。

また、「働きがいがない」「人材不足・後継者不足」「男女不平等・女性が活躍する場の不足」「就職難」など、労働に関係する項目が上位に多いこともわかります。

ただし、悩みや不満といった課題は、地域差が大きい。「総合報告書」には、都道府県ごとの「定住意欲度」および「悩み・不満項目の回答者割合」が掲載されている。全国平均とは違う、その地域ならではの課題を分析し、地域の持続性のために対策を立てていく必要があるでしょう。

※第1回地域版SDGs調査2019の調査結果より

## ②年代別、男女別の傾向の違いは？

個別レポートには、属性別クロス表を掲載しています。

例えば、「SDGs」という言葉についての認知度(全国平均)を男女別で比較すると、男性25.0%に対し女性16.9%となっており、男性の方がSDGsの認知度が高いという結果になりました。

ところが、SDGsの17のゴールを示し、自分の住む都道府県に必要なと思うゴールを選んでもらったところ、男性は一つのゴールにつき平均17.0%、女性は平均19.4%と、女性の方が、地域の持続性のための取組を求めている割合が高くなりました。特に男女差が大きかったのは、ゴール11の「住み続けられるまちづくりを」で、男性は35.3%が選んだのに対し、女性は48.1%と半数近い人が選んでいます。

若い女性の転入を促したい、ファミリー世帯の流入を促したい、など地域ごとに掲げるターゲットは異なりますが、それぞれの属性別に、どんな悩みを抱えており、どんな地域に住みたいかといった希望があります。本調査での属性別分析を、ターゲットごとの政策立案にお役立てください。

## ③他の都道府県に比べて、住民が課題に感じている項目は？

個人の悩み・地域への不満については、総合報告書の中に「都道府県別の点数表」と「47都道府県の中での順位表」を掲載しています。自地域で課題とされている項目と、全国における立ち位置を確認することができるほか、近隣地域における課題の状況を一目で確認できます。

さらに、今年度より、悩み・不満項目別の都道府県ランキングも掲載。課題に感じている住民の多い地域の共通点や、解決方法を検討するうえでの参考にしていただけます。